

①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う生活やそれに伴う報道等で、人権意識の欠如やジェンダーの偏りによる課題が、改めて浮き彫りになったと考えております。

今回の状況を踏まえ、改めてジェンダー平等・男女共同参画社会の実現に向けた、ご意見等を伺います。

意見番号	意見内容
1	<p>この度のコロナ対応では、テレワークの仕組みが充実されたことは今後の働き方にとって、プラスに活かせることができると良いと思います。しかし、子供の預け先がなく、テレワークの制度のようなほかの手段がない人にとっては、収入が激減し、働き先を失ってしまった女性も多いのではないのでしょうか。</p> <p>友人もパート先から当分休んでいて欲しいと言われ、今も連絡がないとのこと、多分そのまま辞めることになるのではと話していました。雇われるだけが働くことではないという選択肢を今回のことで強く感じ、自分の能力向上のために努力していくことの重要性を感じました。しかし、勉強するにもお金が必要で、生活もしていかなければならないと考えたらなかなか難しいのかなあ、とも思います。</p>
2	<p>コロナ禍の自粛生活の中、報道に触れる機会が非常に増えたことで、私たちの多くがこの事態に取り組む意思決定の場に、日本の女性が海外と比べていかに少ないかを目の当たりにして、今更ながら愕然としたのではないのでしょうか。我が国のジェンダー平等がいかに遅れているかをわかりやすく示してくれました。</p> <p>また、家庭の中でも妻たちの家事負担への不満がふくれあがりました。「なぜ自分たちが3食3食つくらなければならないのか。」と。性別役割分担への疑問の声をあちらこちらで耳にします。</p> <p>日々の多忙な生活の中で、ともすれば目をそらしがちであったジェンダーの問題をこのような事態にもう一度しっかり見つめ直せる機会ととらえ、より良い社会へ進めるきっかけにできる事を願っています。</p>
3	<p>◆女性に対する人権侵害</p> <p>日常が壊れた状況において、女性の人権侵害が起きていたことは歴史が物語っている。戦時下はもとより、阪神大震災においても避難所においてレイプ事件が起こっていた。</p> <p>今回のコロナ禍においても、女性の人権を侵害する言動が見られる。お笑い芸人が口にした女性蔑視の言葉や、薬局やスーパーでの客からの暴言を浴びせられていたのも、女性が多かったのではないか。「コロナビーム」など混乱した男性たちが暴言を投げつけていたのも、多くは女性である。</p> <p>イギリスの女性の作家ヴァージニア・ウルフは「女は男を2倍の大きさに見せる 鏡、だ」と喝破した。先が見通せない現在、誰も不安を抱いている。その不安を、女性の存在で埋めようとする言動に対して厳しく臨みたい。</p>

4	<p>医療従事者からできるだけ遠ざかりたいという雰囲気地域の中でありました。（自粛期間中、保育園等に子どもを預けているのは、医療従事者が多い。だから、なるべく預けたくない。）</p> <p>父親の在宅勤務もあり、父親の家事・育児へかかわりが増加したと思います。しかし、家事・育児を調整しているのは母親等で、やはり女性の負担はまだ大きいという気がします。</p>
5	<p>◆女性に対する暴力</p> <p>上述した点に続く課題として、関係機関から、児童虐待・DVなど、女性や子どもに対する暴力の増加が報告されている。</p> <p>また、2020年3月25日、「ワンストップ支援センター」で面談した被害者の約2割が中学生以下だったとの調査結果が公表され、内閣府は「性虐待が家庭の中で行われているケースもある。子どもが被害に気づけるよう教育啓発の強化が必要だ」とコメントしている。</p> <p>StayHomeが要請された状況下では、より深刻な事態が進行していると推測される。</p> <p>「家族一緒にいることが幸せ」「大変な時こそ家族で」といった家族幻想は危険である。</p>
6	<p>緊急事態宣言により、裁判所の手続は基本的にストップしました。予定されていた期日は取り消され、審判日も延期されました。緊急事態宣言が解除されましたが、ようやく期日の再調整が始まったところですから、全体の進行は2か月近く後ろ倒しになったような感じです。事態が事態ですし、やむを得ないところもあったでしょう。ただ、別居し、夫に生活費（婚姻費用）を請求していたケースでは、この遅れは死活問題です。これにより生活が逼迫した母子も居たのではないかと思います。また、10万円の特別定額給付金につき、受給権者が世帯主とされたことでも混乱が生じました。DV被害者支援団体等の声もあり、避難先に住民票を移していなくても被害者（母）が同伴する子の分も含めて受け取れるようにはなりましたが、加害者に支給されてしまえば被害者に渡される見込みは相当に薄く、対応に追われました。お金のことだけでなく、外出自粛生活により、DV虐待のストレス下に置かれている人も多くいると予想されます。加害者が一日中家に居ますから、被害を受けていても、相談は容易でないと思われます。</p> <p>緊急時、そのしわ寄せはどうしても弱い立場にいけます。また安易に世帯主ベースで施策がなされると、女性と子どもが不利益を被ります（これも、男女平等の視点から見直されるべき制度・慣行です。）。</p> <p>緊急時に、女性と子どもが不利益を受ける事態とならないよう、平常時から対策を考えておく必要を痛感しました。</p>
7	<p>新型コロナウイルス感染拡大にともない、外出自粛から休業要請など将来不安がストレスとなり新たにDVが発生する可能性が高くなっていると思います。</p> <p>外出という選択肢がうばわれ家族が密閉空間にいるため弱い立場に置かれる人（女性や子ども）が身の危険にさらされるという、今まで経験したことのない現状がおきていると思います。</p> <p>解決方法は今までと同じだと思います。</p>

8	<p>◆経済的困窮</p> <p>総務省の労働力調査を見ると、3月4月と、女性の非正規労働者の減少が大きい。景気悪化に伴い、雇用の調整弁として女性が使われていると思われる。5月以降はさらに経済・雇用への打撃が加速しており、専門家は「本当の危機はこれから」と警鐘を鳴らしている。</p> <p>女性の中でも、特にシングルマザーや単身者への支援、また母子家庭の子どもたちへの支援も急務である。</p> <p>アメリカでも同様に、「増える女性のコロナ失業、米でもシングルマザーが犠牲の筆頭」と報じられていた。</p> <p>いずれにしても、すべてにおいて公的支援が必要である。</p>
9	<p>コロナ感染拡大により、一時帰休や店舗の休業等の処置がとられたが、この結果非正規職員の待遇や保証が充分でないことが明確になった。</p> <p>又、学校が閉鎖され日中子供が家にいる場合、どうしても女性の負担が多くなる。このような時の家庭への援助、家庭内の協力体制の確保が今回の経験に基づいた対策が検討されると良いと思います。</p>
10	<p>テレワークなどの在宅勤務も増えるなど、仕事の在り方が変わることで、男女共同参画の推進に向けて可能性が高まったとは思いますが、実際の生活部分については、食事の支度といった家事やケアワークについて、やはり女性の方が負担を負っているという報道も多くなされています。</p> <p>まさに先般のアンケート調査にもあった、家庭における役割分担での調査結果のような状況が、この期に及んでも多くの家庭などで変わらず行われているのだろうと推測され、まだまだ固定的性別役割分担意識は根強い・根深いのだと思わされます。</p> <p>これまでなかなか進まなかった「働き方」に変化が起きつつあるので、この機会に意識の啓発をより進め、男女共同参画社会の実現へ向けていきたいところではありますが。</p> <p>別の話ではありますが、新型コロナウイルス対応について、ドイツなど女性がリーダーを務める国々の方が、国民の理解や納得を含めたところでの対応が上手くいっているなあと個人的に大変興味深く見えています。</p>
11	<p>◆子育てを強いられている女性</p> <p>在宅勤務の広がりには歓迎したいが、結局、女性がそれを選ばされ、在宅勤務の上に家事育児を担わざるを得ない状況、あるいは離職して家事育児に追いやられている女性が多いと考えられる。</p>

12	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、不要不急の外出制限が発令され、外出自粛も促されていた中、衝動的な言葉が飛び込んでくる。「ママやめたい！」だ。</p> <p>育児に奮闘しながら時に孤独になり、子どもにイライラ、赤ちゃんの夜泣きも妻が対応し、夫は眠っている。眠れていないまま朝を迎え、食事、洗濯、掃除、そして妻も仕事に向かう。一人ワンオペ状態。行動している妻は最初は「こんなもん」と思いながらやっているが、身体が疲れ、精神が疲弊する。家庭は女金であり健全であるということを考えさせられる記事であり、誰か助けてあげてほしい。一日も早くこの状態を改善し、家庭のことは2人（夫婦）で協力が当たり前に行けるよう声を上げていかないといけないと思いました。そして女性にとって、男性もですが、上記の状況を踏まえると、家庭ではない顔で活躍する場、主に社会活動、人とのつながりが大切なのかと思われます。妻ではなく、母ではなく1人の女性（男性）として認められる差別のない機会がそれぞれの人生に増えることを心から望んでいます。</p>
13	<p>申し訳ございません。私の「男女平等」に対する意識が低いせいでしょうか。今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴う一連の生活の中で、上記のような人権意識の欠如であるとか、ジェンダーの偏りといったものは特段感じておりません。違っていたら恐縮ですが、某芸能人の発言から来ている設問でしょうか？</p>
14	<p>今回の状況を見ても、子どもたちは大人たちが言う通り、家で落ち着いた生活を概ね送っていたように思います。しかし、大人たちが守れない状況をよく目にしました。大人たちへの研修や意識向上を図る取組が必要だと感じました。</p>

②男女平等推進に関して、ご意見ご感想等、自由にご記入ください。

意見番号	意見内容
1	<p>これまでに男女平等推進に向け様々な施策もとられてきたものの、減少傾向にはあるとは言え、固定的性別役割分担意識の根強さには改めて考えさせられます。</p> <p>という点では、まだまだ啓発も必要なんだろうと思わされます。</p> <p>男性に向けた啓発という点では、働き方だけの問題ではなく、男女共同参画社会の実現は、男性自身がより暮らしやすくなるものであることを伝えるとともに、アンコンシャスバイアス解消の面からは、幼少期からの教育現場での啓発が、今まで以上に重要だろうと思います。</p>
2	<p>我が家は夫婦とも昭和後期の生まれです。時々ですがこの「男女平等推進」について話しますが、私たちは“しっくりこない”と受け取っています。生まれてきた国の文化、育ってきた時代、受けてきた教育等々がそうさせているのでしょうか、そういった意味でも幼少期の教育が大切なのかなと思います。</p> <p>「男女平等」という言葉は非常に聞こえが良く、ただ、何を以ってそれを実現したかというつかみどころが無いものでもあるかと思います。先にも書きましたが、もちろん納得する項目は数多くありつつも、私自身はどこか「男女平等」の考え方全てについてはしっくりきていません。そのように考える者に対し、「時代錯誤ではないか」「国際社会から遅れをとる」といった声押し付けられてしまうと、どうにも生きづらさを感じてしまいます。今般のコロナウイルスで“自粛警察”なんて言葉が流行りましたが、それぞれの立場や価値観といったものを大切にしながら、日本も自然な形で男女平等の考え方が浸透していけばいいなと思っています。</p>
3	<p>新プランは、市民アンケートの結果にみられるように、意識改革も順調に進み現行のプランより簡潔な表記になり、余分なものがなくなり見やすくなったと思います。</p> <p>前述のコロナ感染の問題で、防災対策の中にパンデミック時の男女平等の維持についての項目を取り入れてもいいのではないかと思います。</p>

4	<p>私が日進市に住んでから感じている事を具体的に書きます。</p> <p>1. 教育現場での隠れたカリキュラムを見える化すること。 ①教職員の無意識な言葉や態度→保育士・教職員への研修の充実</p> <p>2. 「男女共同参画社会基本法」がなぜ必要なのか</p> <p>男女平等という美しい表現ではなく、社会にとって必要だということの明確化、例えば①少子高齢化で女性にも働いてもらわないと社会がまわらないこと、②女性の参画がなければ経済成長が見込まれないこと（ジェンダー指数は、世界経済フォーラムが出している。ジェンダー指数の低い日本は、経済成長では後進国である。）</p> <p>3. にぎわい会館の書籍コーナーを図書館へ（一般の人の目につくところに並べる）。にぎわい会館を訪れる人は図書館と比べると少ない。</p>
5	<p>男女平等推進に関しては、早期教育が大切だと考えます。特に性差が明らかになる中学生の時期にジェンダー平等意識の大切さを伝えることが必要です。日進市においても中学校における人材教育・人材啓発の中にジェンダープログラムを取り入れることを提案します。</p>
6	<p>◆根底から見直す契機としたい</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、戸惑うばかりの毎日ではあるが、一方で、暮らし方のすべてを根底から見直す機会にできればと考える。</p> <p>しばらくは、生涯学習の場で「男女平等」について学ぶことも難しいが、Zoomなどを用いれば、繋がり共有できる。新しい発想で、できることから始めたい。</p>
7	<p>コロナの影響で、仕事・家庭のあり方が改めて考えられていると思います。男女平等推進にも（きっと）効果があらわれることを願っています。</p>
8	<p>子が登校している中学校にはラグビー部があります。ラグビーといえば男性のスポーツというイメージがありますが、部員の1人に女の子が入部しています。真っ黒に日焼けし、ユニフォームも皆と同じ、もちろんポジションもプレーも同じです。とても輝かしく活躍をしていますし、男子部員も彼女を受け入れています。</p> <p>強いチームではないですが、当たり前のようにこのようなチームが組まれていることはとても清々しい気持ちになります。同じ女性として勇気をもらえます。</p> <p>やりたいことに一生懸命になる！そこで輝く華になる！（男性も）。「男女平等」の将来はこのようなことを意識して今後も参加させていただきたいと考えました。</p>